

【施策評価シートの見方】

【表 面】

【裏 面】

後期基本計画に掲載されている施策名が記載されています。

施策評価シート《令和2年度・令和3年度評価》

No. 6 - 4

施策を行う目的を記載しています。

後期基本計画に掲載されている施策小項目名が記載されています。

施策を実現するために必要な役割分担について「市民」「行政」の視点から記載しています。

当該施策を構成する事務事業名及び事務事業の成果指標を記載しています。

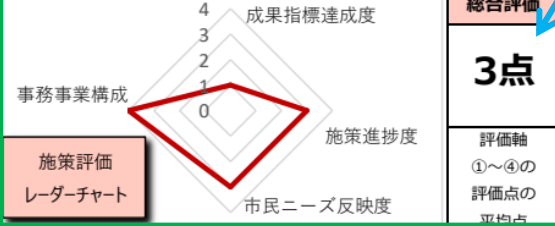
基 礎	施策名	第4節 計画的・総合的な行政の推進	所管部署名	政策室	
	まちづくり目標	第6章 まちづくりの推進のために（行政運営）	評価責任者	浅水 明彦	
	施策小項目	1 行政評価によるマネジメントの推進	5 人事管理の充実	関連部署名(1)	
		2 品質マネジメントシステムの推進		関連部署名(2)	
3 計画的な行政改革の推進			関連部署名(3)		
4 組織体制の整備			関連部署名(4)		
施策の目的	明確な目標設定と評価、評価に基づく継続的改善が行われることをめざす。 ・市民満足度のより一層の向上をめざす。 ・社会情勢等により変化する行政需要に迅速かつ的確に対応できる組織をめざす。 ・職員研修の充実により職員の能力の向上、専門性の育成を推進するとともに、優れた人材の確保をめざす。				
役割分担	市民の役割 市の施策に対する関心・協力を高める。				
個別計画	第5次よしかわ行政改革大綱(令和2年度～令和6年度) 吉川市定員適正化計画(第6次:平成27年度～令和2年度、第7次:令和3年度～令和8年度) 吉川市人材育成基本方針(平成30年度～)				

区分	指標名(上段)		単位	設定時の値	実績値①(年度)	実績値②(目標年度)	達成状況	最終目標値(目標年度)
	指標の性質(下段)							
指	①	市全体の取り組みに対する満足度	%	72.3	68.8	73.3	D	80.0
		増加することが良いとされる指標		H28	R2	R3		R3
標	②	事務事業評価の達成度	%	77.7	71.4	73.8	D	80.0
		増加することが良いとされる指標		H27	R2	R3		R3

施策の達成状況を測る指標が記載されています。指標ごとに達成状況が記載されています。

施策の評価	評価軸	評価方法		評価点
		評価軸①	評価軸②	
の	評価軸① 指標達成状況	指標の達成状況を、 A=4点(達成度100%以上)、B=3点(達成度80～99%)、 C=2点(達成度50～79%)、D=1点(達成度49%以下)とする。	合計点は 2点 評価点 = 平均点 = 指標達成状況合計点 / 指標の数	1点
	評価軸② 施策の進捗状況	<input type="checkbox"/> 順調 (100%以上の達成度) <input checked="" type="checkbox"/> おおむね順調 (80%以上の達成度) <input type="checkbox"/> やや順調でない (50～80%程度の達成度) <input type="checkbox"/> 順調でない (50%未満の達成度)	・目標指標である「市全体の取り組みに対する満足度」(市民意識調査における「行政サービスに対する満足度」)については、当初値よりは増加しているものの、新型コロナウイルス感染症対策に関する意見等もあり、目標を達成することができなかった。 ・事務事業評価の達成度についても、コロナ禍により事業が実施できなかったこと等により、目標値を達成することができなかった。	3点
	評価軸③ 市民ニーズの反映度	<input type="checkbox"/> 反映できた <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できた <input type="checkbox"/> どちらかといえば、反映できなかった <input type="checkbox"/> 反映できなかった	各種計画の策定にあたっては、市民参画手続きにより意見聴取を行うことで、計画への反映に努めている。また、市民意識調査を毎年行い、全庁で、様々な事業の検討に活用しているが、多様化する市民ニーズの全てを反映することは困難である。	3点
	評価軸④ 施策に対する事務事業の構成	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当であった <input type="checkbox"/> どちらかと言えば妥当でなかった <input type="checkbox"/> 妥当でなかった	基本構想に掲げる将来都市像の実現に向け、効果的な行政運営の実施や、効率的な業務執行を図る事務事業により構成されており妥当である。 ※構成する事務事業については裏面を参照	4点

本施策に関する現状と課題を記載しています。



評価軸①「指標の達成状況」は、本施策の指標の目標達成度（全指標の評価平均点）を記載しています。
 評価軸②「施策の進捗状況」、③「市民ニーズの反映度」、④「施策に対する事務事業の構成」については、4段階で評価し、評価の理由を記載しています。

評価軸①～④の評価点の平均点を総合評価として、得点とレーダーチャートで表しています。

本施策の令和2・3年度における取組内容などを記載しています。

本施策の評価、現状と課題を踏まえ、今後の展開について記載しています。

特記事項
 ・令和3年度に「第5次吉川市総合振興計画」が計画満了となることから、これまでの総合振興計画を検証し、市民ニーズや社会経済情勢の変化等を踏まえながら「第6次吉川市総合振興計画」を策定した。
 ・令和3年度に「第5次よしかわ行政改革大綱」に沿った市の具体的な取組を定める、「よしかわ行政改革推進プラン」の改革事項を見直し、第2期プランを策定した。
 ・職員研修について、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から非対面式のオンライン型研修を種別別実施し、交通費等の金銭的コストを削減した。

今後の展開
 ・第6次吉川市総合振興計画前期基本計画を計画的に推進するため、社会経済情勢等の変化に応じ実施計画の引き続き、供給者適合宣言によりISO9001品質マネジメントシステムを運用することで、継続的な改善を図り、市民満足度の向上を図る。
 ・業務プロセス管理表に関して、その意義や管理意識について、改めて周知・徹底を図り、より効率的な事務を進めていく。
 ・市民ニーズの多様化や社会情勢の変化に対応していくため、職員研修を充実することにより職員の資質向上を図るとともに、適正な定員管理に努めていく。